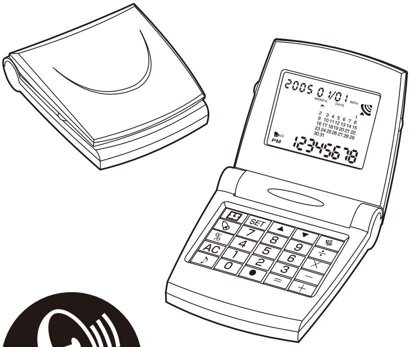
5623J 電波時計カルキュレーター

取 扱 説 明 書

STERLING CLUB®



5623J-05-11

製 品 仕 様

- ●精　　　度：平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合）（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- ●表 示 精 度：±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
- ●使用温度範囲：－10℃～＋50℃　ただし、表示判断可能温度範囲　0℃～＋40℃
- ●ア ラ ー ム：電子音アラーム　1分間オートストップ　約4分スヌーズ、デイリーアラーム機能付（翌日も同じ時刻にアラームが鳴る）
- ●アラーム精度：表示に対し±0秒
- ●カレンダー：2003年1月1日～2099年12月31日フルオートカレンダー
- ●表　　　示：12/24時間切り替え表示
- ●使 用 電 池：単4電池１本付属
- ●電 池 寿 命：約1年（アラームを1日30秒使用した場合）
- ●電波受信機能：自動受信は毎日、午前 1時と4時に行います。（時計表示上の時刻にて）
- ●８桁計算機囲：計算機モードで通常の8桁計算機となります。
- ●世 界 時 計：世界16都市（キーに印刷されています）の時刻表示ができます。
- ●カウントダウンタイマー：（23時間59分59秒～1秒）設定範囲

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波時計について

●電波修正機能とは

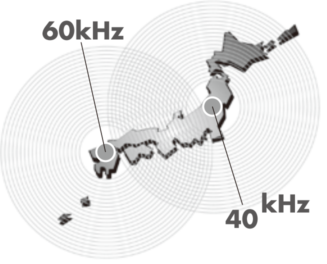
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

郵政省が運用している時刻情報をのせた電波で、福島県（40KHz）と佐賀県（60KHz）で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信について

送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね1000～1200Kmです。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



〈ご注意〉

※標準電波は、毎時15分と45分の各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。

※電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。このような時は、場所を変えて本体背面のRESETボタンをボールペンなどの先の細いもので押して設定し直してお使いください。

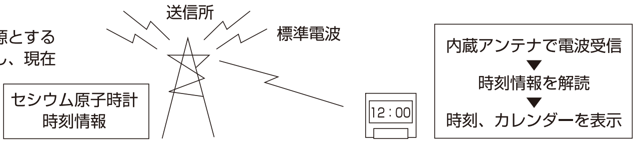
※電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

●使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

※ビルの中、ビルの谷間、地下。 ※高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。 ※テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。 ※工事現場、空港の近くや交通量の多い所など、電波障害の起きる所。 ※乗り物の中（自動車、電車、飛行機など） ※スチール机等の金属製の家具の上や近く。

●電波時計のしくみ
超高精度のセシウム原子時計を源とする時刻情報を持つ標準電波を受信し、現在時刻を表示します。



使用場所・お手入れ方法

■使用場所：つぎのような所では、使わないでください。

●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所　●温度が＋50℃（50度）以上になる所。例えば、直射日光が当たるところ、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、その他火気に近い所　●浴室など湿気の多い所　●強い磁気や振動がある所●電波ノイズを発生させるものの近く

■お手入れ方法：日常の手入れの仕方

●わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。　●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。　●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。　●殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

液晶パネルについて

●見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。　●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。　●温度が高くなるとパネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。　●パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。
●液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分注意してください。万一以下の状態になった時は、それぞれの応急処置を行ってください。

※皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんで良く洗浄してください。
※目に入った場合：きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
※飲み込んだ場合：水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の手当てを受けてください。

ご使用方法

1 電池の入れ方

本体背面の電池ブタを取りはずしてください。付属の単4電池1本を ⊕ ⊖ の向きに気をつけて正しくセットしてください。電池ブタを元どおりに取り付けてください。
※ 正しく通電されると表示窓に２００３年１月１日12:00の表示になるはずです。

2 自動受信

上記 1 の状態で、受信状態が良好な場所であればアンテナマーク（ ）が点滅して受信を自動的に開始します。最大 12 分以内に受信が成功するはずです。成功すればアンテナマークが点滅から点灯状態になります。これで正確な時刻、年 / 月 / 日が表示されます。
（受信に成功しない場合はアンテナマークが消滅します。）

3 受信に成功しない場合

・場所を変えて RECEIVE キーを押して、しばらくお待ちください。（最大 12 分）
・それでもうまく受信しなかった場合は手動で時刻、年 / 月 / 日を合わせてください。（事項 4 参照）
・一度受信に失敗した場合でも、翌朝に成功している場合があります。（夜中は上空の電離層の状態がよくなりますので受信に成功する可能性が大きくなります。）
・また送信局のメンテナンス工事などで送信が中断している場合もありますのでご了承ください。（通常受信している場所でも、その時は受信できません。）

4 手動での時刻合わせ

電波がうまく受信できない場合は、手動で合わせることができます。
※この時アンテナマークが点滅されていないことを確認してください。自動受信を試みている時には、キーが機能しませんのでご注意ください。
・TOKYO キーを 1 度押してから SET キーを 1 度押すと **"秒"** が点滅します。"▲" もしくは "▼" キーを押すとゼロ秒スタートとなります。（電話の時報サービスなどを利用して正しくゼロ秒スタートしてください。）
・同様の手順で SET キーと "▲" 又は "▼" キーで、**時→分→年→月→日**を合わせ、SET キーを最後に押すと通常表示となります。

5 アラーム（目覚まし）の設定

・通常表示から マークのキーを押すと、_ _ _ _ **AL** の表示になります。
・SET キーを押すと **"時"** が点滅しますので、▲又は▼キーを押してご希望の **"時"** を合わせてください。
・次に SET キーを押すと **"分"** が点滅しますので、同様に▲又は▼キーを押してご希望の **"分"** を合わせてください。最後に SET キーを押すと表示が固定します。
・これでアラームが設定されました。キーボード左上隅の CLOCK キーを押して通常表示に戻します。（液晶画面に マークが表示されています。）

6 アラーム音を止める

A 居眠り防止機能を使う（SNOOZE/ スヌーズ）
・アラーム音が鳴った後、本体真ん中のスヌーズバー（SNOOZE）を押すと一旦、音は鳴りやみますが、**４分**後に再度アラーム音がなります。（液晶画面の マークが点滅しているはずです。）

B 居眠り防止機能を使わないで、1 度きりで音を止める場合はキーボード上のいずれかのキーを押してください。（尚、翌日の同時刻になるとアラーム音はなります。）

7 アラーム設定の解除

キーを 2 回押すと _ _ _ _ **AL** の表示となり、設定は解除となります。 CLOCK キーを押して通常表示に戻します。（液晶画面の マークが消滅しています。）

8 世界時計（ワールドタイム）

・通常表示の時、キーボード上の世界の 16 都市が印刷されているキーを押すと､その現地時刻が表示されます。（約 6 秒で自動的に通常表示に戻ります。）尚、都市名が印刷されているキーを 2 秒程度押し続けると画面の表示が一旦､**"SU"** となり 1 時間時計が進みます｡サマータイム制を導入されている都市で有効です。解除するには再度その都市キーを約 2 秒程押し続けると解除されます。

・別都市時刻の固定表示
継続表示をしたい都市のキーを押した後 SET キーを押してください。これでご希望の都市の時刻を表示し続けます。(ただし電波時計が機能し受信に成功すると日本時刻の表示に戻りますのでご了承ください。)
※電波時計は日本国内のみ有効です。

ワールドタイム時刻対照表

都市コード	都市名	国　名	時　差
LONDON	ロンドン	英国	0
PARIS	パリ	フランス	1
CAIRO	カイロ	エジプト	2
MOSCOW	モスクワ	ロシア	3
KARACHI	カラチ	パキスタン	5
BANGKOK	バンコク	タイ	7
H.K.	香　港	中国/香港	8
TOKYO	東　京	日　本	9
SYDNEY	シドニー	オーストラリア	10
N.Z.	―――	ニュージーランド	12
HAWAII	―――	米国/ハワイ	-10
L.A.	ロサンゼルス	米　国	-8
DENVER	デンバー	米　国	-7
CHICAGO	シカゴ	米　国	-6
NEWYORK	ニューヨーク	米　国	-5
BRAZIL	―――	ブラジル	-3

9 計算機の使い方

通常表示の時、AC キーを押すと計算機モードになり、8 桁計算機として使用できます。
(通常表示に戻すには CLOCK キーを押してください。)

10 カウントダウンタイマーの使い方

・通常表示の時に % キーを押すと画面に **00-00 00** と表示されます。SET キーを押すと **"秒"** が点滅します。▲又は▼キーを押して合わせます。
・同様に SET キーと▲又は▼キーで **"時"** → **"分"** の順で合わせます。
・最後に SET キーを押して完了です。
・ % キーを押すと計測スタートとなります。
※いずれかのキーを押すと音は鳴り止みます。
※計測を一時中断する場合は % キーを押してください｡再度押すとその時間からの再スタートとなります。
※計測を途中でキャンセルする場合は一時中断した後、▲又は▼キーを押してください。すべてクリヤーとなります。通常表示に戻すには CLOCK キーを押します。
※計測を終了すると「ピ、ピ、ピ」音が鳴ります。いずれかのキーを押すと音は鳴りやみます。

11 キートーン

キーを押すと「ピッ」と鳴る機能のことです。♪ キーを押すことによって、有効となります。音を出したくない場合は再度 ♪ キーを押してください。(押す度にこの機能が ON、OFF となります。)